



## 幸田町の特産「筆柿」を 子ども食堂へ提供します！



西三河筆柿選果場運営委員会は10月31日（月）、社会福祉法人愛恵協会が運営する幸田町子ども食堂に幸田町特産の筆柿を提供します。

今回提供する筆柿は、大きさや形などが出荷基準を満たさないものの、甘くて品質に問題のないもので、この取組みは昨年度に続き2回目です。

地元で収穫した安全安心な農産物を子どもたちに食べてもらいながら、フードロスを削減することに取り組みます。

### 「筆柿」の特徴

この地域が全国シェア95%を誇る特産物。1個100グラム程度の早生品種で、皮が薄く丸かじりもできる。平均糖度は18度で、高いものは25度にまで及ぶ。今年は9月19日にスタートした。

### 西三河筆柿選果場運営委員会

幸田町と西尾市の生産者62人で構成する出荷団体。約34ヘクタールで筆柿を栽培している。



### 【取材対応について】

日時：10月31日（月）13:00～

場所：JAあいち三河幸田営農センター筆柿選果場（幸田町大字六栗字江尻10）

※当日は社会福祉法人愛恵協会職員などが出席する予定です。

＜お問い合わせ＞※取材にお越しいただける際は、事前にご連絡ください。

JAあいち三河 総合企画室 企画広報課（担当：岡田）

TEL：0564-55-3034 FAX：0564-55-2950 E-mail：kouhou@ja-aichimikawa.or.jp

※この情報は、JAグループ愛知記者会・岡崎市政記者クラブにおいてプレスリリースしています。